

| | | | | |
|--|-----------------------------|----------------------------|----------------|--------------|
| 科目名 Course Name | | 開講年次 | 開講学期 | 曜日・時限 |
| ファッションビジネス III Fashion Business III | | 2年 | 後期 | 別途、時間割参照 |
| 単位数 | 授業の形態 | 授業の性格 | | 履修上の制限 |
| 2単位 | 講義 | 選択 | () | 特になし |
| 当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目 | | | | |
| ファッション関連科目 | | | | |
| 同時に履修しておくことが望まれる科目 | | | | |
| ファッション関連科目 | | | | |
| 担当者に関する情報 | | | | |
| 氏名 | 研究室の場所 | オフィスアワー | | 電話番号・メールアドレス |
| 阿部芳子 | 福祉棟 3F | 授業中に指示します | | 授業中に指示します |
| 授業の概要 | | | | |
| 3つの内容を学ぶ。①ブランド企画から生産（製作）、販売までの流れを理解する。②グローバル化で多様化している今日、商品の材料、製造方法、価格、流通、購入方法など、トラブルに巻き込まれない知識をもつことは、生産者・販売員・生活者にとって重要である。③販促活動のために宣伝方法やディスプレイについてプレゼンテーション能力を養う。 | | | | |
| 授業の目標 | | | | |
| ①地域資源を生かしたブランドの立ち上げを通して、ブランド企画、製造、販売までのファッションビジネスの流れを経験できるようにする。②商品の宣伝方法について学び、その一部を経験できるようにする。③ディスプレイを計画、提案できるようにする。④商品の材料、製造方法、価格、流通、購入方法などが今日は多様化しており、トラブルに巻き込まれない知識を持つことができるようにする。 | | | | |
| 授業の方法 | | | | |
| 講義形式。市場調査、グループワークなどの演習形式を加えながら授業を進める。 | | | | |
| 学習の成果（学習成果） | | | | |
| ①アパレル産業の仕組みを理解し、実践できる力を身につけることができる。 ②商品知識を持ち、素材選びや品質管理の補助ができる。 ③ファッション関連商品の販売業務のクレームなどの相談にのることができる。 ④グループワークにより、プロデュース能力、コミュニケーション能力を育むことができる。 | | | | |
| 授業のスケジュールと内容 | | | | |
| 第1回目 | オリエンテーション | 生活用品の購入法 | 体に優しい商品・生活 | |
| 第2回目 | 衣料素材の理解① | 素材の選別、表示、天然素材 | | |
| 第3回目 | 衣料素材の理解② | 素材の選別、表示、化学繊維、不織布の素材、異素材構成 | [調査資料] | |
| 第4回目 | 品質表示、加工、衣服デザインと価格、美しさと品質、加工 | | | |
| 第5回目 | ブランド知識 | 低価格商品 | 情報から読み解く | [レポート] |
| 第6回目 | ブランド企画① | ターゲット設定、 | ブランドコンセプト、販売形態 | [小テスト] |

| | |
|---------|---|
| 第7回目 | ブランド企画② 商品イメージ 商品企画(デザイン画) |
| 第8回目 | ブランド企画③ 商品製作1 |
| 第9回目 | ブランド企画④ 商品製作2 |
| 第10回目 | ブランド企画⑤ 商品製作3 |
| 第11回目 | ブランド企画⑥ 商品製作4 |
| 第12回目 | ブランド企画⑦ タグ、包装、ディスプレイ計画 |
| 第13回目 | ブランド企画⑧ 広報、宣伝1 (ショップ紹介、ポスター) |
| 第14回目 | ブランド企画⑨ 広報、宣伝2 (ショップカード) *実験ショップ |
| 第15回目 | 発表・講評・まとめ、 ファイル、 製作物・ レポート |
| 事前・事後学習 | 事前：生活スタイルと服装のデザイン・素材など調べる。事後：生活者のライフスタイルや嗜好に目を向けられるようにする。 |

成績評価の方法と基準

| 評価の領域 | 割合 | 評価の基準 |
|------------|-----|---|
| 授業参加態度 | 10% | 遅刻、欠席がなく、積極的に授業に参加しているかを評価する。 |
| レポート | 20% | レポート(第5、15回)について、課題の内容を適切に説明しているか、成果や感想が明確に述べられているかを評価する。期限内に提出されているかを評価に加える。 |
| 調査報告書 | 40% | 資料(第3、15回)について、写真、挿絵等を効果的に用いてまとめられているか、内容に創意工夫がみられるかを総合的に評価する。また、期限内に提出されているかを評価に加える。 |
| 小テスト | 20% | 小テスト(第6回)について、授業内容(第1回～第5回)が理解できているかを評価する。 |
| 試験 | | |
| 発表内容(態度含む) | 10% | 発表(第15回)について、内容が分かりやすく発表されているか、発表態度が適切かを評価する。 |
| その他 | | |

教科書と参考図書

教科書：なし 参考書：文化服装学院編 「服飾関連専門講座①アパレル素材論」、 「ファッションビジネス 応用編」
、 第一学習社 「最新生活ハンドブック

履修上の留意点・ルール

2/3以上の出席がないと受講資格を失う。遅刻、忘れ物、飲食、私語、携帯電話の使用を禁ずる。*イオン見学・アウトレット調査を行う場合もある。